

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表（基本方針2抜粋版）

資料2

基本方針2 地域の文化芸術活動に関わる人と場を結び・支える													
施策1 自立的・継続的な文化芸術活動の推進													
番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	子どもの文化芸術事業に関わる団体への支援（子どもの文化芸術事業補助金）	文化振興課	1-2子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり	令和6年5月3日（金）ほか	タクトホームこもれびGRAFAREホールほか	西東京市内で行われる子どもの文化芸術事業に対し、市がその事業に係る経費の一部を補助することにより、将来の文化芸術の担い手となる子どもの文化芸術活動の場及び機会の充実を図ることを目的とする。	・市内に在住、在勤若しくは在学をする18歳以上の者 ・以下要件を満たす団体 (1) 市内に事務所又は活動の拠点を有する非営利団体であること。 (2) 団体の規約又はこれに類するものを有し、代表者及び所在地が明らかであること。 (3) 会計経理が明確であること。 (4) 国、地方公共団体、独立行政法人その他の公法人及びこれらに類する団体でないこと。	7 団体	市報	子どもの文化芸術事業補助金について市報や市ホームページにて周知を行い、個人・団体を募集した。その結果、7団体より交付申請があり、ウエスト・ファン・ジュニアへ112,000円、Kidsミュージカルファクトリーへ200,000円、一般社団法人 西東京市文化芸術振興会へ26,000円、ウインドアンサンブルへ175,000円、西東京ジュニア・ユースオーケストラへ107,000円、碧山吹奏楽部へ200,000円、個人へ200,000円を交付し、将来の文化芸術の担い手となる子どもの文化芸術活動に関わる個人及び団体への支援を行うことができた。	地域の活性化	西東京市内で行われる子どもの文化芸術事業を実施する個人及び団体に対し、補助金の交付を行うことで継続的な文化芸術活動の支援につながり、地域の活性化に寄与した。	令和6年度に新設された補助金であり、認知度が低いことが課題であることから、補助金の周知に努める。
			ホームページ										
			SNS										
			2-2文化芸術を支える人材の育成と活用						チラシ				
			2-3活動者の情報共有・連携による取組の充実										
2	文化・芸術活動を行う団体等の育成に関する事業	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）	2-2文化芸術を支える人材の育成と活用	令和6年4月17日（水）ほか75回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	地域の文化芸術団体との共催事業を通じて、音楽、演劇、映画、舞踊、伝統芸能など市民がさまざまな文化芸術に触れる機会を創出することや発表の場を市民に提供することで地域の文化芸術の育成・振興を目的に実施する。	子ども～シニア	4,575 人	市報	①アーティスト・アーカイブス：通年、10人（登録者数） ②こもれびチャンネル：通年 ③こもれび@ライブ：通年 ④ワンコインライブ：令和6年4月17日、6月26日、8月30日、10月30日、12月11日、令和7年1月24日（全6回）、554人 ⑤こもれびフリーライブ：令和6年5月6日、7月10日、9月24日、11月29日（全4回）、374人 ⑥第15回西東京Hulaフェスティバル：令和6年5月12日、192人 ⑦2024西東京市民映画祭 第20回自主製作映画コンペティション：令和7年5月25日、155人 ⑧西東京フィルハーモニーオーケストラ 第36回定期演奏会：令和6年7月7日、460人 ⑨子ども文化芸術フェア2024 あっとアート体験：令和6年8月25日、611人 ⑩西東京市民映画祭：令和6年9月21日～9月23日、851人 ⑪Kidsミュージカルファクトリー Presents 子どもミュージカルワークショップ発表公演「月のうさぎと転校生」：令和6年12月27日、28日、603人 ⑫西東京ジュニア・ユースオーケストラ 第15回定期演奏会：令和7年1月26日、255人 ⑬コーラスこもれび ワークショップ：通年(月2回)、発表会：令和7年2月2日、260人（発表会） ⑭つなぐ・みんなの笑顔2025：令和7年3月16日、250人 ⑮こども踊り教室：教室：通年(月2回)、発表会：令和7年3月30日、200人（発表会）	地域の活性化	日常的な活動の場や発表の場を提供することや情報誌やホームページによるPRを行うことで、地域団体が自立的・継続的に文化芸術活動を推進することに寄与した。	・地域で活躍する文化・芸術活動を行う団体や個人のイベントや発表の場にホール職員が自ら出向き、ワンコインライブやフリーライブへのオファーをすることにより出演が決定したり、当館のアーティスト・アーカイブスに登録していただいた事例があった。これらからも文化芸術を支える地域の人材を育成する取り組みを継続していきたい。 ・今後の課題として「文化芸術に触れる機会をより多くの市民に提供すること」が挙げられる。当館事業や文化・芸術活動を行う団体の公演やイベントの模様をライブ配信することにより、当日会場にお越しいただけない市民の方々にも文化芸術に触れる機会を創出していきたい。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										

3	文化・芸術活動を行う団体等の育成に関する事業	文化振興課 (市民文化プラザ指定管理者)	2-2文化芸術を支える人材の育成と活用	令和6年12月1日 (月) ほか	-	施設やイベント情報を市民に伝えるために情報誌を10万部印刷し、西東京市報への折込として市内全戸配布を実施。	-	-	ホームページ	施設やイベント情報を市民に伝えるために情報誌を10万部印刷し、西東京市報への折込として市内全戸配布を実施。また、SNSを活用したPRの下地を整え、団体・活動者のPR発信のサポートを行った。その結果、主催事業の告知に繋がり、内覧会には約1,300名が来場し、年度内に開催した4事業のアンケートに「情報誌を見た」と答えが複数あった。好評につき300部の増刷を行った。	地域の活性化	市内全戸配布の効果もあり、施設やイベント情報を多くの市民に伝えることができ、多くの方の来場につながった。地域のイベントに参加していただくことにより地域の活性化につながった。	引続き効果的に施設やイベント情報を伝えるため、内容を検討していく。
			2-3活動者の情報共有・連携による取組の充実						SNS				
									チラシ				
4	アーティストバンクに登録のあるアーティストを登用した事業	文化振興課 (保谷こもれびホール指定管理者)		令和6年5月6日 (月・祝) ほか 1回	1階エントランス (5/6)、3階小ホール (5/19)	地域の文化振興を目的に、当館自主事業にてアーティスト・アーカイブス登録アーティストを起用することで、地域の文化活動の活性化を図る。	西東京市内で活躍もしくは市に縁のあるアーティストや文化団体	8 人	チラシ	下記の自主事業内でアーティスト・アーカイブス登録アーティストを起用 ①こもれびフリーライブ：令和6年5月6日：小山尚子（ピアノ）（1名） ②だれでもチャレンジライブ：令和6年5月19日：フーテンのヒロ（1名）、ヒナタポッコ（3名）、J-Brothers（3名）	地域の活性化	登録アーティストを当館自主事業に積極的に起用し、活動を支援した。登録アーティストに発表の場を提供することで、地域の文化活動の活性化が図れた。	地域のアーティストを多く活用しているこもれびフリーライブ、だれでもチャレンジライブなどの自主事業の他に、ワンコインライブや西東京ゆかりのアーティストコンサートなど登録アーティストを起用する事業を拡大していきたい。さらに、今後はだれでもチャレンジライブ出演者や誰でもピアノ、おいでよ！こもれびホール参加者など自主事業へ興味を持つ方へアーティスト・アーカイブスのご案内をすることで、登録アーティストを増やしていきたい。
5	自治会・町内会等への支援（自治会・町内会等活性化補助金）	協働コミュニティ課	1-1誰もか親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年8月2日 (金) ほか12回	市内各所	自治会・町内会等の活性化及び良好な地域社会の維持、形成を目的として、自治会・町内会等がより良い地域社会実現のために行う事業に対して補助金の交付を行うもの。	市内自治会・町内会・マンション管理組合	-	チラシ	補助事業のうち、文化芸術に関するものの抜粋 ①地域交流活性化づくりの夏まつり：令和6年8月2～5日 約900人 ②秋の文化祭：令和6年9月28日、11月16日 381人 ③納涼盆踊り大会：令和6年8月24日 300人 ④多文化交流会：令和6年7月28日 25人 ⑤夏祭り：令和6年8月24日 78人 ⑥ヴィーガーデン夏祭り：令和6年7月28日 923人 ⑦歌芝居「あなたの扉を開けて」上映：令和6年11月2日 41人 ⑧落語を楽しむ会：令和6年10月20日 30人 ⑨新春コンサート：令和7年3月2日 37人 ⑩早春のつどい：令和7年2月24日 180人 ⑪七夕まつり：令和6年7月1～7日及び11日 150人 ⑫七夕短冊飾りイベント：令和6年7月6日 94人 ⑬荒屋敷こどもまつり：令和6年7月20日 800人	地域の活性化	自治会・町内会等が運営するお祭りなどのイベントは、住民が自主的に企画・運営する自立した活動になり、世代を超えた交流や地域の文化を守るきっかけにもなる。また、イベントに人が集まることで地域の活性化にも繋がっている。	自治会・町内会等活性化補助金は、地域の伝統文化や様々な芸術鑑賞の機会の提供等、地域活動を支える大切な仕組みであるが、自治会等の会員の減少、役員の高齢化などにより、担い手の負担が増えている。市では、活性化補助金の地域連携部門を創設するなど、自治会等とそのほかの地域団体が連携して、地域の活動を担える仕組みづくりに取り組んでいる。
			ポスター										
			回覧板										
			掲示板等										
6	NPO市民フェスティバル	協働コミュニティ課	1-4市民に届く効果的な文化芸術情報の提供	令和7年2月15日 (土) ほか	ONEFORALL西東京・西東京市民文化プラザ	市内で活動するNPO等の市民活動団体が一堂に会し、発表・交流を行う、イベントを市民から公募した実行委員会と市民協働推進センターゆめこらほの共催で行う。	市民、市民活動団体	800 人	市報	・パネル展 2月10日～14日 田無庁舎ロビー 34団体参加 内容：各団体の日頃の活動成果についてパネルにて展示 ・対面イベント 2月15日 ONEFORALL西東京地域交流スペース・西東京市民文化プラザ 内容：基調講演、各団体による物販、ワークショップ、ステージ発表等	地域の活性化	文化や、音楽、芸術などの市民活動団体が、パネル展や対面イベントへの出店を通じて、自身の活動の成果を発表し、市民や他団体との交流の場となった。	会場にあえて、開設したばかりのONEFORALL西東京・西東京市民文化プラザを選び、施設を管理する法人や指定管理者と、施設を今後使うことになる市民活動団体をつなげることで、今回のイベント後に当該施設を利用した例や、地域交流スペースの活用につながったケースがあった。また、基調講演に著名な作家をお呼びするとともに、子ども向けのチラシを別途作成し、キッチンカーや物販、施設管理者の独自企画など、単なる市民活動の紹介だけに留まらない、一般市民や子どもも参加しやすいイベントにして、集客を図った。課題としては、関係者以外の広く市民に感心を持ってもらうことで、イベントについてはある程度の成果があったが、パネル展については場所もきめてもっと多くの方に見ていただくにはどうすれば良い考える必要がある。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										
7	市民協働企画提案事業	協働コミュニティ課	2-2文化芸術を支える人材の育成と活用	-	-	氏とNPOや市民活動団体等との協働を推進することを目的に、NPOや市民活動団体等と市が協働で、地域の課題解決と市民サービスの向上に向けて取り組む事業に対して、補助金を交付する。	市内で事業を実施するNPOや市民活動団体	4 団体	市報	①藍染め&きりたんぼづくり体験会：令和6年8月17日、25人 ②とくしまワークショップ：令和6年12月15日、15人 ③コミュニティFMを利用した西労教師の魅力発信と中高生ラジオプロジェクト ④One scene 西東京	地域の活性化	NPOや市民活動団体等の自主性、自立性を高め、事業の安定的運営、拡充を図ることに寄与した。	団体との連絡やスケジュール管理をさらに大切にすることで、団体と市が適切な役割分担をしてスムーズに事業を実施できるようにする。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										

8	サークル見学会	公民館	2-4文化芸術に親しむ場の確保と充実	令和6年6月11日 (火) ほか 全7回	田無公民館 ロビー	田無公民館の利用団体が、田無公民館ロビーで活動報告や発表を行い、興味のある市民が見学会をする。 公民館で活動するサークルの紹介の場、新規会員獲得の機会、サークル間交流の場として、活動の活性化や継続を支援することを目的とする。また市民にとっては公民館のサークル活動を知り、地域での活動参加につながっていくきっかけとなる。	市内在住・在勤・在学の市民など	-	ホームページ	実施回数：7回 見学者数：延べ140人 参加団体：22団体（中国語、スマホ・タブレット・パソコン、茶道、ウクレレ、着付け・組紐、フラダンス、国際理解学習、パンチニードル、絵画、エッグアート、刺繍、女声コーラス、沖縄三線、二胡、韓国語、自力整体、地域から孤立をなくす語り合い、マジック、コスヘル、交響楽団、編み物）	地域の活性化	本番に向けて、ポスター・チラシ作りや発表体験内容を仲間と相談し合うことでサークル内の活性化が図れたため、また見学会をきっかけにサークルに加入する。	参加団体同士だけでなく、職員と参加団体との交流も深まったため、今後そのつながりをどう活かしているか検討し、さらなる充実につなげる。	
			SNS											
			チラシ											
以下再掲														
1	ホールボランティアの活用	文化振興課		通年	タクトホームこもれびGRAFAREホールメインホール及び小ホール ほか	地域の文化芸術を支える人材の育成と活用やアートマネジメントへの興味関心を喚起することを目的に、随時、ホールボランティアの募集を行い、主に自主事業において会場運営業務に協力していただいている。	ホールボランティアに関心がある方であれば、どなたでも参加可能。	1	人	ホームページ チラシ	ボランティア活動として、主に自主事業公演等（12事業）における、もぎり、プログラム・アンケート配布、客席案内などの会場運営に参加。活動前にレセプションの業務に関する事前研修を受講。	地域の活性化	市民の地域参画や社会教育の場として、ボランティアが機能しており、地域の活性化に寄与した。	指定管理初年度の令和5年度にはホールボランティア登録者が18名、今年度は1名登録があり、現在、19名の登録となっている。登録数が鈍化しているため、今後はこもれびインフォメーションへ募集記事を掲載することに加え、ボランティアに興味のある学生に対するPRも積極的に進めていきたい。今年度から希望者には、ボランティア活動証明書を発行している。
2	市民まつり	文化振興課		令和6年11月9日（土）・10日（日）	西東京いこいの森公園	西東京市民まつりは、市の伝統、風土、地域文化の創造を高め、市民と市との協働により、人と人とのつながりをより大切にしたいまつりを目指すことを目的とする。	制限なし	97,000	人	市報 ホームページ SNS チラシ	テーマ みんなでつくる市民まつり 共催 西東京市民まつり実行委員会、西東京市 開催日時 令和6年11月9日（土）午前10時から午後4時まで 令和6年11月10日（日）午前9時から午後3時30分まで 会場 西東京いこいの森公園 来場者数 令和6年11月9日（土） 50,000人 令和6年11月10日（日） 47,000人 2日間合計97,000人	地域への愛着	市内構成団体・市民で構成された実行委員会と市が共催して、子どもたちが楽しめる内容の検討や環境への配慮等、市民まつりがより充実したものであるための検討をしたため。	「課題解消に向けた工夫」 ・西東京市民まつりオリジナルグッズを販売し、実施資源の確保に取り組んだ。 ・環境学習の機会等として、環境フェスティバルを同時開催環境アワードの表彰式を野外ステージで実施、環境に配慮した容器等を使用し、プラスチックごみを削減、市民まつりで排出されるごみの削減を目指した。 ・子どもがより楽しめるように子どもゾーンの出店者をより子ども向けの出店となるよう募集をかけた。 「今後の課題」 ・重要行政課題にも挙げている、市民まつり実行委員会との役割分担について、持続可能な市民まつりの実施体制の構築を検討していく。 一商工会との連携、若い世代の実行委員会への参加、財源の確保等 ・事務負担の軽減 一紙資料の削減、電子申込フォームの利用等
3	保谷こもれびホール利用者意見交換会	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）		令和7年2月7日（金）ほか回	音楽練習室	こもれびホールの利用者に普段利用に際して感じていることを自由に語っていただき、今後の会館運営に活かしていくことを目的とする。	こもれびホールの利用団体・個人	12	人	こもれびインフォメーション	実施日：令和7年2月7日（金） 参加団体・個人：西東京フィルハーモニーオーケストラ、富士町カラオケ同好会、西東京稲門会、西東京ジュニア・ユースオーケストラ、ウインドアンサンブル和、保谷民謡連合会、ドリームウエストウインドオーケストラ、西東京文化芸出振興会、TOHNO DANCE STUDIO、参加個人：三瓶衛、佐伯充代子 会場：音楽練習室	地域への愛着	西東京市民まつりオリジナルグッズの作成・販売をすることで市民まつり実施財源の確保及び地域への愛着向上に寄与したため。	・特定の団体だけではなく広く市民からの意見を収集できるように、会館側から利用の多い団体や個人に参加の要請を行った。 ・議題やテーマを設けず、会館利用に際しての率直な意見を伺う事により、普段は見過ごしがちな視点に気が付いた。 ・開催に対しての周知が不十分であるとの指摘があったため、次年度はチラシだけでなく、会館HPや館内パネルへの掲示も行う。
4	伝統文化親子教室事業への支援	文化振興課		令和7年11月23日（金）ほか4日	タクトホームこもれびGRAFAREホール ほか	市内の親子が伝統文化に親しむきっかけとなるよう西東京市親子体験教室事業実行委員会が事業を実施しており、西東京市が文化庁への補助金申請等を支援している。	小学1年生～高校3年生と保護者	定員：270 実績：306 応募：306	人	チラシ	・11月23日（土）J:COMコール田無：琴体験、和装着付け・日本舞踊体験 ・11月24日（日）J:COMコール田無：日本かつら・舞台化粧・和装体験、日本舞踊体験 ・12月22日（日）J:COMコール田無：華道体験、茶道体験 ・1月11日（土）タクトホームこもれびGRAFAREホール：古典芸能である日本舞踊の舞台を体験	地域の活性化	子どもたちが地域に伝わる伝統文化等を体験することや、指導者をはじめ地域の伝統文化等に携わる人と関わることで、地域文化を活性化することにつながり、文化芸術によるつながりが生まれ、地域の活性化に寄与した。	例年多くの方に参加していただいているが、さらに多くの方に参加していただくため、広報支援等を継続して実施していく。

5	伝統文化等継承事業に関わる団体への支援（伝統文化等継承事業補助金）	文化振興課		令和6年7月13日（土）ほか28回	津島神社ほか	西東京市における伝統芸能、民俗芸能及び文化財を後継者が受け継ぎ、地域に根付かせ継承する事業を行う団体に対して、補助金を交付することによって、伝統文化等継承事業を推進し、もって市民の郷土に対する認識と愛着の向上、担い手となる後継者の育成及び地域の連携を図ることを目的とする。	・西東京市の歴史の中で培ってきた事業で、継承を行うことが必要と認められる事業 ・過去に西東京市で実施されていた事業で、復活・発掘を行うことが必要と認められる事業 ・その他市長が認める事業	定員：5 実績：5団体 応募：5	市報 ホームページ SNS チラシ	伝統文化等継承事業補助金について市報や市ホームページにて周知を行い、団体を募集した。その結果、5団体より交付申請があり、保二小どんと焼き実行委員会へ93,475円、上向台どんと焼き実行委員会へ100,000円、明保中どんと焼き実行委員会へ100,000円、田無囃子保存会100,000円、保谷和太鼓会へ100,000円を交付し、伝統文化等継承事業に関わる団体への支援を行うことができた。	心身の健康	伝統文化等継承事業補助金交付団体に対し、自主的な事業実施に向けた助言をすることで、多くの市民が継続的に文化芸術に触れる機会を提供することにつながり、心身の健康づくりに寄与した。	新たに地域の伝統文化を発掘することが課題であるため、情報収集に努め、関係部署と連携を図り文化資源を発掘する取組みについて検討を行う。
6	多摩5美術展	文化振興課		令和6年11月23日（土）から29日（金）まで	西東京市南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」	①圏域5市を代表する著名な画家の作品を、圏域住民に鑑賞いただくことにより、市域を越えた芸術家及び市民の交流を図るとともに、圏域内における文化芸術の普及と還元を図る。 ②キットバスを活用した文化芸術事業を通じて、市民の誰もが身近に文化芸術に親しめるよう鑑賞・体験機会の充実を図るとともに、圏域5市の広域的交流を促進し、文化芸術の更なる振興を図る。 ③圏域5市で活動する作家の方たちが描いた作品を選び、同じ地域の鑑賞者（圏域5市の市民）と対話型鑑賞をして作品を身近に感じてもらいながら他者との見え方の違いに気づけたり、様々な意見を肯定的に受け入れることで新たな発見をするような体験をしてもらう。アートみーるのことも知ってもらえる機会となる。	①小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の美術家 ②圏域5市（西東京市、小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市）に在住、在学、在勤の小学4年生以上の方 ③多摩5美術展来場者	定員：①③なし ②15 実績：①936 ②9 ③12 応募：①③なし ②15	市報 ホームページ SNS チラシ	①多摩5美術展 ②多摩5美術展ワークショップ「キットバスを使って会場のガラスを彩ろう！」 ③「対話による美術鑑賞」事業体験会	心身の健康	多摩5美術展の実施に関して必要な助言を行うこと等により、多摩5美術展を継続して実施できるよう支援を行い、文化芸術に触れる機会の継続的な提供に繋がったことで、活動者及び来場者の心身の健康づくりに寄与した。	新たな出品者や来場者を取り込むことが課題として挙げられているため、関連事業を実施することで、新たな出品者や来場者の掘り起こしにつながった。
7	中学・高校生年代イベントプロジェクト	児童青少年課		令和7年2月9日（日）	タクトホームこもれびGRAFAREホール	・イベントの運営や実施を通して中学・高校生年代の交流の場を設定する。 ・中学・高校生年代に対して、発表の場を通して様々な体験をする機会を提供する。 ・中高校生の興味関心のあるプロフェッショナルとのコラボレーションを図る。	市内および近隣に在住、在学、在勤の高校生	定員：30 実績：28 応募：28	チラシ 各高等学校へ協力依頼	高校生スタッフによる、イベントの企画から運営までの実践 中学・高校生年代による、特技や技術の発表 高校生スタッフが選んだ講師によるゲスト出演	地域への愛着	自ら企画・運営に関わる体験を通じて、地域の文化資源と関わり、地域への理解と関心が深まったため。	情報発信を強化し、学校・地域と連携して参加促進を図った。振り返り機会の設置により、活動の質と継続性を高めた。
8	公民館まつり	公民館		令和6年11月11日（水）ほか	各公民館	公民館を利用して活動する団体の活動成果発表の場、地域住民や参加団体の交流の場、日ごろ公民館を利用しない市民に公民館に関心を持ち、足を運んでもらう機会とするため各公民館で公民館祭まつりを実施する。	市内在住・在勤・在学の市民など	6,581人	ホームページ SNS チラシ 公民館だより	①ヤギフェスVol.13（柳沢公民館）令和6年11月11日（水）～11月24日 2,025人 ②田無公民館ロビーまつり（田無公民館）令和6年7月14日 860人 ③第41回芝久保公民館まつり（芝久保公民館）令和6年10月26日、27日 926人 ④谷戸まつり（谷戸公民館）令和6年4月27日、28日 1,489人 ⑤第16回ひばりが丘フェスティバル（ひばりが丘公民館）令和7年3月2日 552人 ⑥第15回駅前フェスタ2024（保谷駅前公民館）令和6年10月19日、20日 729人	地域の活性化	すべて市民による実行委員会が中心となり公民館と力を合わせ実施しており、団体の自主性・継続性を念頭に支援しているため。	実行委員会の世代循環が課題。新たなまつり参加者や担い手等の人材発掘のため広報や呼びかけを強化し、事業の継続とさらなる充実を図る。
9	西東京市スポーツ相談窓口事業連絡会	スポーツ振興課		令和6年5月15日（水）ほか1回	インクビル3階第3会議室ほか	西東京市のスポーツ相談窓口事業の維持・充実のため、庁内関係各課及び外部関係機関が情報交換及び共通認識を図ることを目的とする。	西東京市スポーツ相談窓口事業連絡会設置要綱第3による	-	庁内メールによる	スポーツ相談窓口の運営に当たり、関係各課及び外部関係機関との情報交換を行う。 （主な議題） ・スポーツ相談窓口運営実績報告 ・第2期西東京市スポーツ推進計画に基づく庁内連携について ・新年度予算要求に伴う各課スポーツ関連事業及びスポーツ相談窓口との連携について ・スポーツ関連事業補助金について	地域の活性化	文化芸術活動の周知については、担当課と連携し情報提供に寄与することができた。	スポーツ相談窓口の存在を多くの市民の方に知っていただき、気軽に利用していただくために市民周知や情報提供について検討する必要がある。

10	商店街活性化推進補助事業	産業振興課		令和6年10月12日 (土) ほか1回	田無神社	文化資源である田無神社を中心とした地域との連携事業を行い、商店街の認知度向上、地域及び商店街の活性化を目的とする。	市民など	3,000 人	ホームページ	10月12日(土)に行われた宵宮祭では、五龍神神輿、女神輿渡御を行った。 10月13日(日)に行われた本宮祭では、本宮神輿渡御を行った。 両日ともに御旅所の一ヶ所を田無商業協同組合が設営し、神輿の担ぎ手等を労った。	地域への愛着	神輿の担ぎ手だけでなく、幅広い世代の見物客が訪れ、大きな賑わいを創出したことにより、地域への愛着に寄与した。	御旅所において、飲食物を提供しているが、提供物についても商店街会員や地域の事業者が手掛けるものを用意したことにより、事業実施後の集客及び個店の売上増加につながり、更なる地域の活性化を図る。
11	市民交流施設の運営への利用者意見の反映	協働コミュニティ課		令和7年1月中旬～2月中旬	コミュニティセンター	施設利用者のご意見を伺い、いただいたご意見を反映した施設運営を行うため。	コミュニティセンター利用者	1,506 人	コミュニティセンター広報紙	施設管理者(住民による協議会)との意見交換会や、利用者へのアンケートを通じて、施設利用者のご意見を伺い、いただいたご意見を反映した施設運営を行う。	地域の活性化	施設管理者(住民による協議会)との意見交換会を通じて、利用者のニーズを把握し、情報を共有しているため。	施設管理者(住民による協議会)との定例的な意見交換会において、施設の利用実態等を把握し、利用拡大について意見交換、検討することができた。引き続き、利用者アンケートや地域型交流施設における住民協議会での意見交換会等を通じて、利用者の意見を把握して、施設管理に活かしていく。

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表（基本方針2抜粋版）

基本方針2 地域の文化芸術活動に関わる人と場を結び・支える
 施策2 文化芸術を支える人材の育成と活用

番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	ホールボランティアの活用	文化振興課	2-1 自立的・継続的な文化芸術活動の推進	通年	タクトホーム こもれび GRAFARE ホール メインホール 及び小ホール ほか	地域の文化芸術を支える人材の育成と活用やアートマネジメントへの興味関心を喚起することを目的に、随時、ホールボランティアの募集を行い、主に自主事業において会場運営業務に協力していただいている。	ホールボランティアに 関心がある 方であれば、どなた でも参加可 能。	1 人	ホームページ	ボランティア活動として、主に自主事業公演等（12事業） における、もぎり、プログラム・アンケート配布、客席案内 などの会場運営に参加。活動前にレセプションの業務に 関する事前研修を受講。	地域への愛着	ホールボランティアへの参加は、地域の 文化芸術を支える人材の育成と活用に関与 したといえる。また、ホールの業務に 携わることで、ホール運営へのより深い 理解と地域の文化施設に対する愛着を 持っていたりきっかけとなった。	指定管理初年度の令和5年度にはホー ルボランティア登録者が18名、今年度 1名登録があり、現在、19名の登録 となっている。登録数が鈍化しているた め、今後はこもれびインフォメーショ ンへ募集記事を掲載することに加え、ボ ランティアに興味のある学生に対するPF も積極的に行っていきたい。今年度か 希望者には、ボランティア活動証明書 発行している。
			チラシ										
2	地域福祉コー ディネーター事 業	地域共生課	3-2 文化芸術を通じた多様性の理解と交流の 促進	令和6年10月24日 (木)、25日(金)	アスタセン ターコート	企画・運営に関わる市民ボランティアのスキ ル向上や地域活動の紹介、普及啓発を目的 として「みんなの居場所（サードプレイス） 展」を実施。	制限なし	227 人	市報	市が委託している「西東京市ほっとするまちネットワーク システム事業」の一環として、市民に対する事業周知としてパ ネル展示や地域活動の紹介、交流コーナーとして、レジン制 作体験やカードゲームやボードゲームを実施した。	地域への愛着	地域活動の情報提供により、文化芸術に 触れる機会の提供につながり、地域への 愛着向上に寄与した。	様々な開催方法、場所での開催を検討 する。
			チラシ										
3	地域介護予防活 動支援事業	高齢者支援 課	1-1 誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提 供	月1回以上	北町コミュニ ティセンター ほか	街中いこいーなサロンは、住民の方が運営 している”誰でも気軽に参加できる”集いの 場である。サロン活動では、住民の方が工 夫を凝らしながら、様々な活動を提供して いる。	-	13,068 人	チラシ	住民による自主的活動であるため、活動場所や運営につい ても住民主体で実施している集いの場である。サロン活動で、 子どもから高齢者まで誰でも参加できる。46の団体（令和6 年4月現在）により、茶話会、健康体操、傾聴、囲碁、将 棋、麻雀、俳句など様々である。月に1回以上の開催が補助 金交付の条件であるが、中には補助金を受けず、完全な自主 運営の団体もある。参加費は無料が基本であるが、茶葉等の 実費負担の団体もある。	地域への愛着	46あるサロンは、それぞれが近隣地域 に根差した活動をしている。	・住民による自主活動であり、その運 営に行政が関与することなく補助金 についても活動を支える文具、通信運搬 等となっている。補助金の交付を受け ず、完全に自主運営による団体もある。 ことから、本事業の目指すべき方向とし ては、補助金を要せず実施できる仕組み を成熟させていく。
4	したのやサポー ターの活用	地域学習推 進課	3-1 文化資源の継承・活用・発掘によるまち づくりの推進	令和6年10月13日ほ か 2回	したのや縄文 の里	下野谷遺跡の保存・活用に関与する活動を行 っている個人又は団体をしたのやサポー ターとして、協働による地域資源としての活 用につなげ、文化財保護並びに地域活性化及 び地域連携を推進を目的とする。	一般	-	市報	現在、したのやサポーターは総合型地域スポーツクラブ「コ コスボ！東伏見」所属のダンスチーム「ココスボ！じょうも んず」のみ。 令和6年度の活動としては、 ① 第18回したのや縄文の里 秋まつり R6.10/13 ② 市民まつり R6.11/10 の出演により、「したのや縄文体操！」を披露することによ り、下野谷遺跡の普及と地域資源の活用を進めた。	地域の活性化	下野谷遺跡や市のイベントで「したのや じょうもん体操！」を踊り、下野谷遺跡 のブランド化に寄与している。メンバー が代わりをしながらも継続し活動する ことで人材の育成も図られている。	・地域活性化及び地域連携の推進を現 在は、したのやサポーターの存在や活動 が限定的であることから、活動が活躍で る機会を増やす、サポーターの育成を 図ったりするなど、取組を検討し、地 域活性化及び地域連携の推進を図る必要 がある。
			ホームページ										
			SNS										
5	したのやムラび との活用	地域学習推 進課	3-1 文化資源の継承・活用・発掘によるまち づくりの推進	令和6年12月15日ほ か	したのや縄文 の里	下野谷遺跡を愛し、下野谷遺跡に係る活動 を楽しみ、下野谷遺跡を守り未来に伝える個人 または団体の活動をとりまとめ、下野谷遺跡 の保存・活用を市民が主体的に進めること をめざす。	下野谷遺跡 に係る活動 者	-	ホームページ	下野谷遺跡の管理としての落ち葉掃き、イベントの運営協 力、縄文里山の復元活動など ①下野谷遺跡 落ち葉掃きチャレンジ R6.12/15 ②第18回したのや縄文の里秋まつり R6.10/13 ③「里山づくり隊」として縄文植生の実験的復元などを実 施。 R6.5/22、10/10、11/9 など ④「編布の会」（縄文の布づくり）などムラびとの中から自 主サークルも誕生している。 月2回活動 （イベントとしての参加ではないが、自主的に草刈り、ゴミ 拾いなどしていただける方もいる）	地域への愛着	下野谷遺跡に興味がある方が活躍できる 環境を用意し、地域を支える人材を育成 した。	地域への愛着をもってもらい、積極的 に参加をもらうため、協働での遺跡 備やイベント開催について情報発信す ること、 ムラびとの理念に沿った「自主的」な 活動がより盛んになる仕組みや、環境を 整えることを目指している。
			SNS										

6	図書館縁講演会	図書館	1-1 誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年8月18日 (日) ほか1回	①谷戸公民館 ②田無公民館	地域に関連した講演会を行うことにより、地域への愛着や理解を深める機会を創設する。	①小学生以上 ②年齢制限なし	①26 ②45 人	市報	①西東京市図書館子どものための地域を知る講演会「刀・鉄砲と農民たちの幕末-150年前の田無・保谷-」 講師：行田健晃氏 令和6年8月18日(日) ②「地形と地図を読む-ハザードマップへの応用-」 講師：原芳生氏 令和6年12月14日(土)	地域への愛着	地域の歴史や地理情報などを学ぶ機会を設けることで、興味関心が芽生え、地域への思い入れや愛着を向上させるきっかけとなった。	毎年度、各部署に広報物等の資料について、移管を依頼しているものの、依頼する時期、方法によっては対応されないこともあり、各部署における広報物や計画などは市の資料として保存する必要のあることを理解されていないことが聞かれることから、依頼方法や時期などを改善するなどの対策を行った。加えて、各部署や機関に対し、個別の問い合わせ・交渉をすることで、移管に至っている。また、市全体としてのペーパーレス化により、各部署の情報がインターネット(市ホームページ等)掲載のみになっているケースが見られるため、今後の収集方法について、担当部署や機関と相談・交渉の上、検討していく必要がある。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										
								「たまろくナビ」ホームページ掲載					

以下再掲

1	「対話による美術鑑賞」事業	文化振興課		令和6年5月20日 (月) ほか 14回	西東京市立小学校対象校、その他事業内容のとおり	第3期文化芸術振興計画に基づいた複数の施策の推進するため、市民ボランティア(以下「アートみーる」という。)を活用した「対話による美術鑑賞」事業を市内小学校や市内のイベント等を活用して実施し、①子どもが文化芸術に出会うきっかけづくり、②誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供、③文化芸術活動を支える市民ボランティア育成と活用を目的とする。	小学校4年生、その他事業内容のとおり	-	<p>【小学校における事業】 専門的な研修を受けたアートみーるが小学校に出向いて、児童と対話をしながら美術鑑賞を行う。実施校のうち1校では、学校の授業と併せて美術館訪問授業を実施する。また、小学校における事業の実施を担うコーディネーターを養成するため、別途、委託事業者がサポート及び現場指導を実施する。</p> <p>(1)実施校 田無小学校、保谷小学校、保谷第一小学校、保谷第二小学校、谷戸小学校、東伏見小学校、中原小学校、向台小学校、碧山小学校、住吉小学校(事前授業2回、美術館訪問を実施) 計10校 (2)対象児童 4年生 (3)実施内容 少人数ワーク(アートカードの鑑賞)、少人数VTS(ポスター作品の鑑賞)</p> <p>【地域活動】 美術館を持たない西東京市で気軽に美術鑑賞ができるように、市内のイベント等を活用して、地域活動を実施する。また、地域活動を実施するために必要な企画・運営に関しては、別途、委託事業者がサポート及び現場指導を実施する。</p> <p>(1)～おしゃべりアート鑑賞会～ みーる・みーる・みーる お気に入りのさがそう 実施日：令和6年7月20日(土) 場 所：栄小学校体育館 体験者：12人 内 容：アートカードを使用した対話型鑑賞、VTS (2)アートみーる対話型鑑賞ワークショップ(青空ギャラリー アートでおしゃべり つながりを探そう！) 実施日：令和6年10月27日(日) 場 所：ひばりテラス118隣接けやき公園内 体験者：87人 内 容：アートカードを使用した対話型鑑賞、VTS (3)多摩5美術展「対話による美術鑑賞」事業体験会 実施日：令和6年11月24日(日) 場 所：南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」 体験者：12人 内 容：グループ鑑賞</p>	地域の活性化	小学校における事業や地域活動を通して、市民ボランティアの活動の場を提供ことやボランティアへの人材育成の実施に寄与したため。	<p>【課題解消に向けた工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校での事業実施について、先生負担軽減のため、打ち合わせの時間短縮を心掛けるよう市民ボランティアと調整した。 【課題】 ・年度内での全校実施に向けた、市民ボランティアの育成と人材の確保 ・練馬区立美術館の改修工事による、美術館訪問の実施場所の検討・調整
---	---------------	-------	--	-------------------------	-------------------------	--	--------------------	---	---	--------	---	---

2	子どもの文化芸術事業に関わる団体への支援（子どもの文化芸術事業補助金）	文化振興課		令和6年5月3日（金）ほか	タクトホームこもれびGRAFAREホールほか	西東京市内で行われる子どもの文化芸術事業に対し、市がその事業に係る経費の一部を補助することにより、将来の文化芸術の担い手となる子どもの文化芸術活動の場及び機会の充実を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に在住、在勤若しくは在学をする18歳以上の者 ・以下要件を満たす団体 (1) 市内に事務所又は活動の拠点を有する非営利団体であること。 (2) 団体の規約又はこれに類するものを有し、代表者及び所在地が明らかであること。 (3) 会計経理が明確であること。 (4) 国、地方公共団体、独立行政法人その他の公法人及びこれらに類する団体でないこと。 	7 団体	市報 ホームページ SNS チラシ	子どもの文化芸術事業補助金について市報や市ホームページにて周知を行い、個人・団体を募集した。その結果、7団体より交付申請があり、ウエスト・ファン・ジュニアへ112,000円、Kidsミュージカルファクトリーへ200,000円、一般社団法人 西東京市文化芸術振興会へ26,000円、ウインドアンサンブル和へ175,000円、西東京ジュニア・ユースオーケストラへ107,000円、碧山吹奏楽部へ200,000円、個人へ200,000円を交付し、将来の文化芸術の担い手となる子どもの文化芸術活動に関わる個人及び団体への支援を行うことができた。	地域の活性化	子どもの文化芸術事業を実施する個人及び団体については、事業実施の際、後継者の育成を行っており、今後も子どもが文化芸術を身近に楽しむ機会を創出することにつながり、地域の活性化に寄与した。	令和6年度に新設された補助金であり、認知度が低いことが課題であることから、補助金の周知に努める。
3	文化・芸術活動を行う団体等の育成に関する事業	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）		令和6年4月17日（水）ほか75回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	地域の文化芸術団体との共催事業を通じて、音楽、演劇、映画、舞踊、伝統芸能など市民がさまざまな文化芸術に触れる機会を創出することや発表の場を市民に提供することで地域の文化芸術の育成・振興を目的に実施する。	子ども～ジュニア	4,575 人	市報 ホームページ SNS チラシ	①アーティスト・アーカイブス：通年、10人（登録者数） ②こもれびチャンネル：通年 ③こもれび@ライブ：通年 ④ワンコインライブ：令和6年4月17日、6月26日、8月30日、10月30日、12月11日、令和7年1月24日（全6回）、554人 ⑤こもれびフリーライブ：令和6年5月6日、7月10日、9月24日、11月29日（全4回）、374人 ⑥第15回西東京Hulaフェスティバル：令和6年5月12日、192人 ⑦2024西東京市民映画祭 第20回自主製作映画コンペティション：令和7年5月25日、155人 ⑧西東京フィルハーモニーオーケストラ 第36回定期演奏会：令和6年7月7日、460人 ⑨子ども文化芸術フェア2024 あっとアート体験：令和6年8月25日、611人 ⑩西東京市民映画祭：令和6年9月21日～9月23日、851人 ⑪Kidsミュージカルファクトリー Presents 子どもミュージカルワークショップ発表公演「月のうさぎと転校生」：令和6年12月27日、28日、603人 ⑫西東京ジュニア・ユースオーケストラ 第15回定期演奏会：令和7年1月26日、255人 ⑬コーラスこもれび ワークショップ：通年(月2回)、発表会：令和7年2月2日、260人（発表会） ⑭つなぐ・みんなの笑顔2025：令和7年3月16日、250人 ⑮こども踊り教室：教室：通年(月2回)、発表会：令和7年3月30日、200人（発表会）	地域への愛着	文化芸術団体との共催事業やワンコインライブやフリーライブ等地元アーティストと連携した事業を実施することで、活躍の機会を創出するとともに、地域への人的資源の認知度を高め、市民の地域への愛着や誇りを醸成することに寄与した。	・地域で活躍する文化・芸術活動を行う団体や個人のイベントや発表の場にホール職員が自ら出向き、ワンコインライブやフリーライブへのオファーをすることにより出演が決定したり、当館のアーティスト・アーカイブスに登録していただいた事例があった。これからも文化・芸術を支える地域の人材を育成する取り組みを継続していきたい。 ・今後の課題として「文化芸術に触れる機会をより多くの市民に提供することが挙げられる。当館事業や文化・芸術活動を行う団体の公演やイベントの模様ライブ配信することにより、当日会場にお越しいただけない市民の方々に文化芸術に触れる機会を創出していきたい。
4	文化・芸術活動を行う団体等の育成に関する事業	文化振興課（市民文化プラザ指定管理者）		令和6年12月1日（月）ほか	-	施設やイベント情報を市民に伝えるために情報誌を10万部印刷し、西東京市報への折込として市内全戸配布を実施。	-	-	ホームページ SNS チラシ	施設やイベント情報を市民に伝えるために情報誌を10万部印刷し、西東京市報への折込として市内全戸配布を実施。また、SNSを活用したPRの下地を整え、団体・活動者のPR発信のサポートを行った。その結果、主催事業の告知に繋がりと、内覧会には約1,300名が来場し、年度内に開催した4事業のアンケートに「情報誌を見た」と答えが複数あった。好評につき300部の増刷を行った。	地域への愛着	団体・活動者のPR発信のサポートを行うことにより、地域で活動する団体・活動者の情報が市民に伝わり、地域への愛着向上に寄与した。	引き続き効果的に施設やイベント情報を伝えるため、内容を検討していく。

5	伝統文化等継承事業に関わる団体への支援（伝統文化等継承事業補助金）	文化振興課		令和6年7月13日（土）ほか28回	津島神社ほか	西東京市における伝統芸能、民俗芸能及び文化財を後継者が受け継ぎ、地域に根付かせ継承する事業を行う団体に対して、補助金を交付することによって、伝統文化等継承事業を推進し、もって市民の郷土に対する認識と愛着の向上、担い手となる後継者の育成及び地域の連携を図ることを目的とする。	・西東京市の歴史の中で培ってきた事業で、継承を行うことが必要と認められる事業 ・過去に西東京市で実施されていた事業で、復活・発掘を行うことが必要と認められる事業 ・その他市長が認める事業	定員：5 実績：5団体 応募：5	市報 ホームページ SNS チラシ	伝統文化等継承事業補助金について市報や市ホームページにて周知を行い、団体を募集した。その結果、5団体より交付申請があり、保二小とど焼き実行委員会へ93,475円、上向台とど焼き実行委員会へ100,000円、明保中とど焼き実行委員会へ100,000円、田無囃子保存会100,000円、保谷和太鼓会へ100,000円を交付し、伝統文化等継承事業に関わる団体への支援を行うことができた。	地域の活性化	伝統文化等継承事業補助金交付団体については、事業実施の際、ボランティアの活用や後継者の育成を行っており、今後も市民が文化芸術を身近に楽しむ機会を創出することにつながり、地域の活性化に寄与した。	新たに地域の伝統文化を発掘すること、課題であるため、情報収集に努め、関係部署と連携を図り文化資源を発掘する仕組みについて検討を行う。
6	高齢者大学	高齢者支援課		令和6年6月19日（水）ほか16回	老人福祉センター・住吉老人福祉センター	高齢者の生きがいと健康づくりのための多様な社会活動を通じ、高齢期の生活を豊かにするとともに、生き生きとした高齢者社会の実現を目指します。	市内に居住する60歳以上の高齢者	397人	市報 ホームページ	事業は、西東京市社会福祉協議会への委託事業として実施している。令和6年度のテーマを生活、芸能、考古学、歴史、動物、福祉、健康、防災、音楽、国際、演芸と設定し各テーマに講師を招聘し、1時間45分の講義を実施している。	地域への愛着	考古学、歴史をテーマとした講座では、社会教育課学芸員による西東京市の郷土史入門講座を実施したため。	・定員30人に対し78人の応募があり、受講いただけない方が多数出ている。会場の定員を増やすなど一定の改良を図った。 ・応募者は、毎年度リピーターが多く、仲間同士で応募する例が散見され、受決定に苦慮しているが、新規応募の方優先とするなど、受講機会の均等化に努めている。
7	中学・高校生年代イベントプロジェクト	児童青少年課		令和7年2月9日（日）	タクトホームこもれびGRAFAREホール	・イベントの運営や実施を通して中学・高校生年代の交流の場を設定する。 ・中学・高校生年代に対して、発表の場を通じた様々な体験をする機会を提供する。 ・中高校生の興味関心のあるプロフェッショナルとのコラボレーションを図る。	市内および近隣に在住、在学、在勤の高校生	定員：30 実績：28 応募：28	チラシ 各高等学校へ協力依頼	高校生スタッフによる、イベントの企画から運営までの実践 中学・高校生年代による、特技や技術の発表 高校生スタッフが選んだ講師によるゲスト出演	地域の活性化	イベントの企画運営や表現活動を担う高校生自身が、将来的には地域の文化芸術を担う存在へと成長してくことで、地域に継続的な創造性と発信力が生まれるため。	情報発信を強化し、学校・地域と連携で参加促進を図った。 振り返り機会の設置により、活動の質、継続性を高めた。
8	市民協働企画提案事業	協働コミュニティ課		-	-	氏とNPOや市民活動団体等との協働を推進することを目的に、NPOや市民活動団体等と市が協働で、地域の課題解決と市民サービスの向上に向けて取り組む事業に対して、補助金を交付する。	市内で事業を実施するNPOや市民活動団体	4団体	市報 ホームページ SNS チラシ	①藍染め&きりたんぼづくり体験会：令和6年8月17日、25人 ②とくしまワークショップ：令和6年12月15日、15人 ③コミュニティFMを利用した西労教師の魅力発信と中高生ラジオプロジェクト ④One scene 西東京	地域の活性化	補助金を交付し、NPOや市民活動団体等と市が適切な役割分担のもと協働で事業を行うことで人材の育成に寄与した。	団体との連絡やスケジュール管理をさらに大切にすることで、団体と市が適切な役割分担をしてスムーズに事業を実施できるようにする。
9	パリティまつり	協働コミュニティ課		令和7年1月25日（土）ほか1回	J:COMコールド田無	市民と協働で男女平等参画についての意識啓発や情報提供を行う。	市内在住・在勤・在学の市民など	312人	市報 ホームページ SNS チラシ	①エンタメでエンパワー～“わたしらしく”は私が決める～：令和7年1月25日、126人 ②iPadでキラキラレインボー模様を作ろう！簡単操作で思いがけない模様が出来ます：令和7年1月25日、16人 ③みんな大好き「睡眠」のはなし～睡眠と姿勢の大切さについて～：令和7年1月25日、5人 ④赤ちゃん抱っこヨガ ハグヨガ：令和7年1月26日、28人 ⑤パパの初めてのバルーンアート講座：令和7年1月26日、15人 ⑥子どもが発達障がいでも、なくても、パパがやること全部：令和7年1月26日、3人 ⑦映画『グイビーグイビー』上映会&交流会：令和7年1月26日、11人 ⑧西東京プレーパーク★キャラバン パンプスベシャル&アウトドアおはなし広場：令和7年1月26日、63人 ⑨2025年 M's & K's メドレー：令和7年1月26日、45人	地域への愛着	地域で活動する市民団体が講座の企画・運営を行うことで、地域の愛着を醸成した。	各講座でアンケートを取り次回の企画に反映するほか、継続して参加する団体運営することで、それぞれの講座運営で得た課題や改善点をより具体的に反映していく。

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表（基本方針2抜粋版）

基本方針2 地域の文化芸術活動に関わる人と場を結び・支える
 施策3 活動者の情報共有・連携による取組の充実

番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	市民文化祭	文化振興課	1-1 誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年9月19日（木）～11月4日（月・休）	タクトホームこもれび GRAFAREホールほか	日頃の文化活動の成果を発表し、市民の文化活動の向上及び相互交流する機会を提供することを目的とし、市民の文化芸術活動の発表の場、相互交流の場として、様々な団体または個人の催し物を各会場で実施した。	参加者（個人）：市内在住・在勤・在学、参加団体：市内で活動しており、会員の半数以上が市内在住・在勤・在学の方で構成された団体	13,689人	市報	【西東京市民文化祭】令和6年10月14日（月・祝）～11月4日（月・休） 市民の文化芸術活動の発表の場、相互交流の場として、様々な団体または個人の催し物を各会場で実施した。 ・参加団体：18部（151団体） ・参加者数：2,154名 ・来場者数：9,977名（会場来場者数6,950名、ライブ配信視聴者数3,027名） 【西東京市民文化祭PR inアスタ】令和6年9月19日（木）～22日（日） 市民文化祭をより多くの市民に周知するため、アスタセンターコートにおいて、市民文化祭の概要等を紹介したパネル展示及びステージ発表を実施した。 来場者数：1,002名 【西東京市民文化祭オープニングイベント】10月14日（月・祝） 西東京市民文化祭を紹介するために、実施期間初日に、西東京市民文化祭に参加する一部団体による演目や、ポスターや総合プログラムに掲載した優秀作品に対して、表彰式を実施した。 来場者数：484名（会場来場者274名、ライブ配信視聴者数210名） 【「日本の文化体験フェス」in 市民文化祭】10月20日（日）～11月3日（日） 市民文化祭に参加している日本の文化に知識の深い市民または市民団体を講師として、体験会を実施した。 ・応募者数：延べ162名 ・参加者数：延べ72名	地域への愛着	市民文化祭各部の開催では類似ジャンルの文化芸術活動者の交流に繋がり、市民文化祭運営委員会では各部の部長及び役員との交流に繋がり、文化芸術による地域のつながりが生まれ、地域への愛着向上に寄与した。	西東京市民文化祭及び関連事業について、周知方法の検討が課題として挙げられている。令和6年度は、アスタビジョンへの動画放映、西東京市公式LINEにおける「市民文化祭つうしん」の運用等、新たな周知方法を検討・実施し、来場者増加につながった。引き続き、効果的の周知ができるよう検討する。
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										
			1-4 市民に届く効果的な文化芸術情報の提供						アスタビジョン				
2	市民まつり	文化振興課	1-1 誰もが親しめる文化芸術の鑑賞機会の提供	令和6年11月9日（土）・10日（日）	西東京いこいの森公園	西東京市民まつりは、市の伝統、風土、地域文化の創造を高め、市民と市との協働により、人と人とのつながりをより大切にしたいまつりを目指すことを目的とする。	制限なし	97,000人	市報	テーマ みんなでつくる市民まつり 共催 西東京市民まつり実行委員会、西東京市 開催日時 令和6年11月9日（土）午前10時から午後4時まで 令和6年11月10日（日）午前9時から午後3時まで 30分まで 会場 西東京いこいの森公園 来場者数 令和6年11月9日（土） 50,000人 令和6年11月10日（日） 47,000人 2日間合計97,000人	地域の活性化	市内構成団体・市民で構成された実行委員会と市が共催して、子どもたちが楽しめる内容の検討や環境への配慮等、市民まつりがより充実したものになるための検討を行ったため。	「課題解消に向けた工夫」 ・西東京市民まつりオリジナルグッズ：販売し、実施資源の確保に取り組んだ。 ・環境学習の機会等として、環境フェスティバルを同時開催環境アワードの表彰式を野外ステージで実施、環境に配慮した容器等を使用し、プラスチックごみを削減、市民まつりで掛られるごみの削減を目指した。 ・子どもがより楽しめるように子どもゾーンの出店者をより子ども向けの出しとなるよう募集をかけた。 「今後の課題」 ・重要行政課題にも挙げている、市民まつり実行委員会との役割分担について、持続可能な市民まつりの実施体制の構築を検討していく。 →商工会との連携、若い世代の実行委員会への参加、財源の確保等 ・事務負担の軽減 →紙資料の削減、電子申込フォームの活用等
			ホームページ										
			SNS										
			チラシ										
			2-1 自立的・継続的な文化芸術活動の推進										
3	西東京市スポーツ相談窓口事業連絡会	スポーツ振興課	2-1 自立的・継続的な文化芸術活動の推進	令和6年5月15日（水）ほか1回	イングビル3階 第3会議室ほか	西東京市のスポーツ相談窓口事業の維持・充実のため、庁内関係各課及び外部関係機関が情報交換及び共通認識を図ることを目的とする。	西東京市スポーツ相談窓口事業連絡会設置要綱第3による	-	庁内メールによる	スポーツ相談窓口の運営に当たり、関係各課及び外部関係機関との情報交換を行う。 （主な議題） ・スポーツ相談窓口運営実績報告 ・第2期西東京市スポーツ推進計画に基づく庁内連携について ・新年度予算要求に伴う各課スポーツ関連事業及びスポーツ相談窓口との連携について ・スポーツ関連事業補助金について	地域の活性化	西東京市スポーツ相談窓口事業連絡会を実施することで、これまでの情報をアップデートし、最新の情報を含むスポーツに関する情報を相談に来た市民の方々に提供することができた。	スポーツ相談窓口の存在を多くの市民の方々に知っていただき、気軽に利用していただくために市民周知や情報提供について検討する必要がある。
			2-4 文化芸術に親しむ場の確保と充実										

1	子どもの文化芸術事業に関わる団体への支援（子どもの文化芸術事業補助金）	文化振興課		令和6年5月3日（金）ほか	タクトホームこもれび GRAFARE ホールほか	西東京市内で行われる子どもの文化芸術事業に対し、市がその事業に係る経費の一部を補助することにより、将来の文化芸術の担い手となる子どもの文化芸術活動の場及び機会の充実を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 市内に在住、在勤若しくは在学をする18歳以上の者 以下要件を満たす団体 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市内に事務所又は活動の拠点を有する非営利団体であること。 (2) 団体の規約又はこれに類するものを有し、代表者及び所在地が明らかであること。 (3) 会計経理が明確であること。 (4) 国、地方公共団体、独立行政法人その他の公法人及びこれらに類する団体でないこと。 	7 団体	<ul style="list-style-type: none"> 市報 ホームページ SNS チラシ 	<p>子どもの文化芸術事業補助金について市報や市ホームページにて周知を行い、個人・団体を募集した。その結果、7団体より交付申請があり、ウエスト・ファン・ジュニアへ112,000円、Kidsミュージカルファクトリーへ200,000円、一般社団法人 西東京市文化芸術振興会へ26,000円、ウインドアンサンブル和へ175,000円、西東京ジュニア・ユースオーケストラへ107,000円、碧山吹奏楽部へ200,000円、個人へ200,000円を交付し、将来の文化芸術の担い手となる子どもの文化芸術活動に関わる個人及び団体への支援を行うことができた。</p>	地域への愛着	子どもの文化芸術事業を実施する団体が連携して実施する事業があり、団体同士の情報共有を図る場となった。また、子どもが事業に参加することで、地域の子ども同士の交流の場ともなり、地域への愛着向上につながった。	令和6年度に新設された補助金であり、認知度が低いことが課題であることから、補助金の周知に努める。
2	文化・芸術活動を行う団体等の育成に関する事業	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）		令和6年4月17日（水）ほか75回	タクトホームこもれび GRAFARE ホール	地域の文化芸術団体との共催事業を通じて、音楽、演劇、映画、舞踊、伝統芸能など市民がさまざまな文化芸術に触れる機会を創出することや発表の場を市民に提供することで地域の文化芸術の育成・振興を目的に実施する。	子ども～ジュニア	4,575 人	<ul style="list-style-type: none"> 市報 ホームページ SNS チラシ 	<ul style="list-style-type: none"> ①アーティスト・アーカイブス：通年、10人（登録者数） ②こもれびチャンネル：通年 ③こもれび@ライブ：通年 ④ワンコインライブ：令和6年4月17日、6月26日、8月30日、10月30日、12月11日、令和7年1月24日（全6回）、554人 ⑤こもれびフリーライブ：令和6年5月6日、7月10日、9月24日、11月29日（全4回）、374人 ⑥第15回西東京Hulaフェスティバル：令和6年5月12日、192人 ⑦2024西東京市民映画祭 第20回自主製作映画コンペティション：令和7年5月25日、155人 ⑧西東京フィルハーモニーオーケストラ 第36回定期演奏会：令和6年7月7日、460人 ⑨子ども文化芸術フェア2024 あっとアート体験：令和6年8月25日、611人 ⑩西東京市民映画祭：令和6年9月21日～9月23日、851人 ⑪Kidsミュージカルファクトリー Presents 子どもミュージカルワークショップ発表公演「月のうさぎと転校生」：令和6年12月27日、28日、603人 ⑫西東京ジュニア・ユースオーケストラ 第15回定期演奏会：令和7年1月26日、255人 ⑬コーラスこもれび ワークショップ：通年（月2回）、発表会：令和7年2月2日、260人（発表会） ⑭つなぐ・みんなの笑顔2025：令和7年3月16日、250人 ⑮こども踊り教室：教室：通年（月2回）、発表会：令和7年3月30日、200人（発表会） 	地域の活性化	あっとアート体験では、地域の芸術団体、写真家、アーティスト、地元中学校の文科系部活と連携し、さまざまなアートに触れるきっかけを市民に提供することを通じ、芸術活動者同士が情報共有、連携する機会を創出することに寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> 地域で活躍する文化・芸術活動を行う団体や個人のイベントや発表の場にホール職員が自ら出向き、ワンコインライブやフリーライブへのオファーをすることにより出演が決定したり、当館のアーティスト・アーカイブスに登録していただいた事例があった。これからの文化芸術を支える地域の人材を育成する取り組みを継続していきたい。 今後の課題として「文化芸術に触れる機会をより多くの市民に提供すること、が挙げられる。当館事業や文化・芸術活動を行う団体の公演やイベントの模様ライブ配信することにより、当日会場お越しいただけない市民の方々にも文化芸術に触れる機会を創出していきたい。
3	文化・芸術活動を行う団体等の育成に関する事業	文化振興課（市民文化プラザ指定管理者）		令和6年12月1日（月）ほか	-	施設やイベント情報を市民に伝えるために情報誌を10万部印刷し、西東京市報への折込として市内全戸配布を実施。	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ SNS チラシ 	施設やイベント情報を市民に伝えるために情報誌を10万部印刷し、西東京市報への折込として市内全戸配布を実施。また、SNSを活用したPRの下地を整え、団体・活動者のPR発信のサポートを行った。その結果、主催事業の告知に繋がり、内覧会には約1,300名が来場し、年度内に開催した4事業のアンケートに「情報誌を見た」と答えが複数あった。好評につき300部の増刷を行った。	地域への愛着	団体・活動者と連携してPRを行うことにより、地域で活動する団体・活動者の情報が市民に伝わり、地域への愛着向上に寄与した。	引き続き効果的に施設やイベント情報を伝えるため、内容を検討していく。

4	市民協働企画提案事業	協働コミュニティ課				氏とNPOや市民活動団体等との協働を推進することを目的に、NPOや市民活動団体等と市が協働で、地域の課題解決と市民サービスの向上に向けて取り組む事業に対して、補助金を交付する。	市内で事業を実施するNPOや市民活動団体	4 団体	市報 ホームページ SNS チラシ	①藍染め&きりたんぼづくり体験会：令和6年8月17日、25人 ②とくしまワークショップ：令和6年12月15日、15人 ③コミュニティFMを利用した西労教師の魅力発信と中高生ラジオプロジェクト ④One scene 西東京	地域の活性化	ゆめこらぼ団体交流会などを通して、採択された団体同士で交流を行うことで、今後の事業の連携に繋がり、地域の活性化に寄与した。	団体との連絡やスケジュール管理をさらに大切にすることで、団体と市が適切役割分担をしてスムーズに事業を実施できるようにする。
5	公民館利用者懇談会	公民館	令和6年9月28日(土)ほか	各公民館	公民館から利用者に報告を行う場、利用者と公民館や利用者同士の意見交換の場、両者を含めた地域の課題解決の話し合いの場として、各館年間2回(9月、3月)実施する。	市内在住・在勤・在学の市民など	-	ホームページ SNS 公民館だより	①柳沢公民館 令和6年9月28日(土)29人、令和7年3月23日(日)72人 ②田無公民館 令和6年9月7日(土)36人、令和7年3月29日(土)102人 ③芝久保公民館 令和6年9月28日(土)16人、令和7年3月23日(日)44人 ④谷戸公民館 令和6年10月5日(土)23人、令和7年3月15日(土)34人 ⑤ひばりが丘公民館 令和6年10月5日(土)21人、令和7年3月15日(土)44人 ⑥保谷駅前公民館 令和6年9月7日(土)25人、令和7年3月8日(水)64人	地域の活性化	参加者同士、お互いの活動を知り会話することで今後の活動の参考になったり、コラボ発表に繋がったりと活動の幅を広げる機会となったため。	公民館からのお知らせやお願いを伝えるだけでなく、各館少人数のグループに別かれて話し合う時間を設け、利用者同士の交流を積極的に促したことで、「有義な利用者懇談会だった」という声を多くいただくことができた。今後も継続して、公民館での活動を盛り上げていけるよう支援していく。	
6	商店街活性化推進補助事業	産業振興課	令和6年10月12日(土)ほか1回	田無神社	文化資源である田無神社を中心とした地域との連携事業を行い、商店街の認知度向上、地域及び商店街の活性化を目的とする。	市民など	3,000 人	ホームページ	10月12日(土)に行われた宵宮祭では、五龍神神輿、女神輿渡御を行った。 10月13日(日)に行われた本宮祭では、本宮神輿渡御を行った。 両日ともに御旅所の一ヶ所を田無商業協同組合が設営し、神輿の担ぎ手等を労った。	地域の活性化	事業実施前より、商店街区内の街路灯に商店街名入りのフラッグを掲げたことで、商店街の認知度向上及び集客につながった。	御旅所において、飲食物を提供しているが、提供物についても商店街会員や地の事業者が手掛けるものを用意することにより、事業実施後の集客及び個店の売上増加につながり、更なる地域の活性化を図る。	

西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」一覧表（基本方針2抜粋版）

基本方針2 地域の文化芸術活動に関わる人と場を結び・支える
 施策4 文化芸術に親しむ場の確保と充実

番号	事業名	所管課	関連施策	実施日	会場	事業概要と目的	対象	参加者数	広報手段	事業内容	特に寄与した効果	寄与したと思う理由	今後の課題・改善点
1	保谷こもれびホールの改修・修繕	文化振興課		令和6年度中4回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	公共施設等マネジメント実行計画に沿って、改修等工事を実施する。また、修繕計画に基づき、緊急性や優先順位などを考慮した修繕作業を実施する。	タクトホームこもれびGRAFAREホール	-	ホームページ	・保谷こもれびホールにおいて、4件（①特定天井改修工事、②メインホール舞台吊物装置改修工事③屋上防水及び外壁改修工事④給排水ポンプ更新工事）の工事を実施した。 ・保谷こもれびホール指定管理が保谷こもれびホールを安心・安全に利用できるように、修繕作業を28件実施した。	心身の健康	改修工事や修繕を行うことにより、誰もが安心して文化芸術活動を行うことができる環境を整えることができ、活動者の心身の健康に寄与した。	休館を伴う工事については、利用の妨げにならないように考慮した上で工事の期を決定した。保谷こもれびホールは、築年数が25年を超えており、修繕箇所が増えてきているので、個別施設計画等に沿って計画に修繕を行うとともに、故障等を未然に防ぐように指定管理者と連携して修繕を行っていく。
2	保谷こもれびホール利用者意見交換会	文化振興課（保谷こもれびホール指定管理者）	2-1 自立的・継続的な文化芸術活動の推進	令和7年2月7日（金）ほか回	タクトホームこもれびGRAFAREホール	こもれびホールの利用者に普段利用に際し感じていることを自由に語っていただき、今後の会館運営に活かしていくことを目的とする。	こもれびホールの利用団体・個人	12人	こもれびインフォメーション	実施日：令和7年2月7日（金） 参加団体・個人：西東京フィルハーモニーオーケストラ、富士町カラオケ同好会、西東京稲門会、西東京ジュニア・ユースオーケストラ、ウインドアンサンブル和、保谷民謡連合会、ドリームウエストウインドオーケストラ、西東京文化芸出振興会、TOHINO DANCE STUDIO、参加個人：三瓶衛、佐伯充代子 会場：音楽練習室	地域の活性化	利用者が忌憚のない意見を交換する場を設けることにより、今後の利用に際しての注意点や改善点が共有でき、市民の意見が反映された運営に寄与した。	<ul style="list-style-type: none"> 特定の団体だけではなく広く市民からの意見を収集できるように、会館側から利用の多い団体や個人に参加の要請を行った。 議題やテーマを設けず、会館利用に際しての率直な意見を伺う事により、普段は見過ごしがちな視点に気が付いた。 開催に対するの周知が不十分である。の指摘があったため、次年度はチラシだけでなく、会館HPや館内パネルへの掲示も行う。
3	市民交流施設の運営への利用者意見の反映	協働コミュニティ課	2-1 自立的・継続的な文化芸術活動の推進	令和7年1月中旬～2月中旬	コミュニティセンター	施設利用者のご意見等を伺い、いただいたご意見等を反映した施設運営を行うため。	コミュニティセンター利用者	1,506人	コミュニティセンター広報紙	施設管理者（住民による協議会）との意見交換会や、利用者へのアンケートを通じて、施設利用者のご意見等を伺い、いただいたご意見等を反映した施設運営を行う。	地域の活性化	利用者アンケートを通じて、施設利用者への実際の要望を伺うことで、地域に適したサービスを提供できるため。	施設管理者（住民による協議会）との例外的な意見交換会において、施設の実態等を把握し、利用拡大について意見交換、検討することができた。引き続き、利用者アンケートや地域型交流施設における住民協議会での意見交換会等を通じて、利用者の意見を把握して、施設管理に活かしていく。
4	公民館利用者懇談会	公民館	2-3 活動者の情報共有・連携による取組の充実	令和6年9月28日（土）ほか	各公民館	公民館から利用者に報告を行う場、利用者と公民館や利用者同士の意見交換の場、両者を含めた地域の課題解決の話し合いの場として、各館年間2回（9月、3月）実施する。	市内在住・在勤・在学の市民など	-	ホームページ	①柳沢公民館 令和6年9月28日（土）29人、令和7年3月23日（日）72人 ②田無公民館 令和6年9月7日（土）36人、令和7年3月29日（土）102人 ③芝久保公民館 令和6年9月28日（土）16人、令和7年3月23日（日）44人 ④谷戸公民館 令和6年10月5日（土）23人、令和7年3月15日（土）34人 ⑤ひばりが丘公民館 令和6年10月5日（土）21人、令和7年3月15日（土）44人 ⑥保谷駅前公民館 令和6年9月7日（土）25人、令和7年3月8日（水）64人	地域の活性化	利用しやすい公民館に向けて実際の利用者から生の声を聞き、改善につなげられたため。	公民館からのお知らせやお願いを伝えただけでなく、各館少人数のグループに呼ばれて話し合う時間を設け、利用者同士の交流を積極的に促したことで、「有意義な利用者懇談会だった」という声をいただくことができた。今後も継続して、公民館での活動を盛り上げていけるよう支援していく。
			SNS										
			公民館だより										

以下再掲

1	学校へのアウトリーチ事業	文化振興課 (保谷こもれび指定管理者)		令和6年7月16日 (火) ほか7回	西東京市内小学校7校	若年層が文化芸術に触れる機会をつくることを目的に、西東京市内の小学校へアーティストを派遣し、アウトリーチ公演を行う。	田無小学校、保谷第一小学校、保谷第二小学校、碧山小学校、栄小学校、東小学校、本町小学校、住吉小学校、けやき小学校	871 人	各対象校に連絡し、事業主旨を説明	西東京市内の小学校へアーティストを派遣し、体育館、音楽室を会場にアウトリーチ公演を行う。学校側には事前に複数組アーティスト候補を提示し、学校側に選定いただいた。市内小学校全18校を2グループに分け、1年に9校ずつ順に巡回する。昨年度9校巡回、今年度は残り9校を実施する予定であったが、田無小学校、栄小学校の2校については学校の都合により実施が見送りととなった。	地域の活性化	こもれびホールが施設外に出向き、市内の子どもたちに文化芸術を身近に親しむ機会を継続的に提供することで、地域の文化振興に寄与した。	昨年度の反省も踏まえ、年度当初からi学校に調整を行った結果、7校へのアーティスト派遣は調整が付いたが、残り2校については学校の都合により実施が見送りととなった。担当課である文化振興課と協議した結果、未実施の2校については、次年度予定の中学校を2校繰り上げて実施することとなり、各中学校に打診してみたが、調整が付かず、実施にはならなかった。 実施した小学校の担当者に学校行事のスケジュールを伺ったところ、例年3月までに次年度のスケジュールが決定するイクルため、次年度は3月までに各学へ周知を完了する予定である。また、i校の働き方改革により、年間の授業の数が削減された関係で、アウトリーチなどに割けるコマが少なくなったといことも確認できた。 今後も地元で活躍するアーティストをi校に派遣することで、地域の人的資源活用、人材育成に寄与していきたい。
2	東京多摩公立文化施設協議会	文化振興課		令和6年5月17日 (金) ほか 5回	東京自治会館、くにたち市民芸術小ホール、彩の園さいたま芸術劇場、たましんR I S U R Uホール	東京都多摩地区の公立文化施設により構成される協議会で、相互に調査研究及び情報交換を行うことにより、その機能を高め合い、もって地域文化の進捗に資することを目的としている。	公立文化施設	-		<研究会>…事業部門、管理部門それぞれ調査研究の実施。 【講演会】「様々なバックグラウンドを持つ子どもたちとアーティストとの出会い ～ワークショップを通じて社会課題と向き合う～」 【施設見学】彩の園さいたま芸術劇場 <多摩フレッシュ音楽コンサート2024>…平成5年から実施してきた「多摩フレッシュ音楽コンクール」を前身とし、コンクールの要素を取り入れた新人コンサートとして「多摩フレッシュ音楽コンサート」を開催している。令和4年度よりピアノ部門・声楽部門をそれぞれ各年で実施。令和6年度はピアノ部門のコンサートを7月11日(木)に開催し、最優秀賞・優秀賞を選出し表彰した。	地域の活性化	他の施設の情報を参考に、施設の事業や利用等の充実につながるため。 また、新人コンサートが、文化芸術の担い手の育成の機会となっているため。	協議会を構成する各施設の実施事業、i設の利用、管理に関する情報共有につて、引き続き行う。 施設見学については、施設規模や築年iに応じ必要となる改修工事の種別など考慮しながら偏りのないよう選定し、おり、引き続きそのような観点から選を行う。
3	文化芸術施策担当実務者連絡会	文化振興課		令和6年5月29日 (水) ほか 1回	小平市役所	多摩北部都市広域行政圏を構成する小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市及び西東京市文化芸術施策担当実務者連絡会を設置し、圏域5市の文化芸術に関わる施策及び共同事業である多摩六都フェア(文化事業)における相互協力を促進することにより、圏域市民の文化芸術活動及び文化芸術を通じた交流の場を拡大し、文化芸術の普及、向上、推進に寄与することを目的とする。	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市及び西東京市の実務者	26 人		【第1回】令和6年5月29日(水) 議題1 多摩北部5市美術家展の課題と対応策について 議題2 その他 【第2回】令和7年1月27日(月) 議題1 第37回多摩5美術展の実績報告について 議題2 意見交換について 議題3 その他	地域の活性化	多摩5美術展等の課題の解決に向けて、多摩北部都市広域行政圏協議会文化芸術施策担当実務者連絡会を開催し、関連事業を実施することで、多くの市民の参加に繋がり、地域の活性化に寄与した。	多摩北部都市広域行政圏を構成する小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市及び西東京市の共通課題であった多摩5美術展に関する課題をまとめ、整理することができた。今後も圏域5市の文化芸術に関わる施策及び共同事業である多摩六都フェア(文化事業)における相互協力を促進する。
4	多文化共生施策担当意見交換会	文化振興課		令和6年5月24日 (金) ほか 1回	オンライン/保谷庁舎	多摩北部広域5市が各市の多文化共生施策の状況や課題を共有する。	多摩北部広域5市(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)、多摩北部広域行政圏事務局	20 人		・第1回:令和6年5月24日、8人(オンライン) ・第2回:令和7年1月30日、12人(保谷庁舎)	心身の健康	一部の日本語教室では、季節のイベント等を行っており、教室に通う外国人が文化芸術に親しむ場となり、心身の健康づくりに寄与している。意見交換会を通じて、各市の日本語教室の現状や課題を共有し、文化芸術に親しむ場の確保と充実にも寄与することができた。	前年度から各市の意向を調査するなどi報整理を行ってきたが、実務者連絡会の引き上げや、既存の他会議体とのあかたについて引き続き整理をする必要ある。
5	ルピナスまつり	子ども家庭課		令和6年10月6日(日)	住吉会館ルピナス	あらゆる世代の交流と活動拠点を目的としている住吉会館ルピナスを会場としたおまつりを行うことで、世代の枠を超えた地域のつながりがうまれ、子ども達にとってより安心・安全な場所になることを目的とし実施する。	西東京市民(主に住吉小学校区にお住いの方、住吉会館を利用のあらゆる世代の方)	1,127 人	市報 ホームページ SNS	・実行委員会方式で企画・運営を行う。(主催:西東京市青少年育成会わかば) ・実行委員会に参加の各団体は、縁日や体験型のブース形式による出し物を行う。 ・中学校・高校生・大学生のボランティア活動の場とする。 ・ルピナスまつり参加者に、住吉会館内にある「のどか広場」「ひいらぎ」「パリティ」「ほっとルーム」の持つ機能を周知するため、作品展示及びパンフレット、チラシを設置する。	心身の健康	西東京しゅきしゅき体操の実演及び保谷和太鼓会の生演奏が行われた。体操では、参加者が自然と身体を動かすことができ、和太鼓の生演奏では、躍動感にあふれ迫力ある演奏を体験することができた貴重な機会となった。身体の活性化及び心の豊かさを育み、住民の健康的な暮らしづくりに寄与するイベントとなった。	・アンケートを実施しており、そのアンケート結果から見えてきた市民ニーズ踏まえ、ベビーカー置き場や駐輪場等、参加者がより立ち寄りやすく安心して楽しんでもらえるよう計画する。 ・高齢者の参加者を増やすため、老人福祉センターに高齢者に向けたチラシを架した。(チラシは青少年育成会わかば作成による)

6	公民館まつり	公民館		令和6年11月11日 (水) ほか	各公民館	公民館を利用して活動する団体の活動成果発表の場、地域住民や参加団体の交流の場、日ごろ公民館を利用しない市民に公民館に関心を持ち、足を運んでもらう機会とするため各公民館で公民館祭まつりを実施する。	市内在住・在勤・在学の市民など	6,581 人	ホームページ SNS チラシ 公民館だより	①ヤギフェスVol.13(柳沢公民館) 令和6年11月11日(水)～11月24日 2,025人 ②田無公民館ロビーまつり(田無公民館) 令和6年7月14日 860人 ③第41回芝久保公民館まつり(芝久保公民館) 令和6年10月26日、27日 926人 ④谷戸まつり(谷戸公民館) 令和6年4月27日、28日 1,489人 ⑤第16回ひばりが丘フェスティバル(ひばりが丘公民館) 令和7年3月2日 552人 ⑥第15回駅前フェスタ2024(保谷駅前公民館) 令和6年10月19日、20日 729人	地域の活性化	館ごとの特徴を踏まえ、来館者に分かりやすい会場作りを進めており、優先席や子どもへの配慮など、誰もがおまつりを楽しめるよう工夫しているため。	実行委員会の世代循環が課題。新たなまつり参加者や担い手等の人材発掘のため、広報や呼びかけを強化し、事業の継続、さらなる充実を図る。
7	サークル見学体験会	公民館		令和6年6月11日 (火) ほか 全7回	田無公民館ロビー	田無公民館の利用団体が、田無公民館ロビーで活動報告や発表を行い、興味のある市民が見学体験する。 公民館で活動するサークルの紹介の場、新規会員獲得の機会、サークル間交流の場として、活動の活性化や継続を支援することを目的とする。また市民にとっては公民館のサークル活動を知り、地域での活動参加につながっていくきっかけとなる。	市内在住・在勤・在学の市民など	-	ホームページ SNS チラシ 公民館だより	実施回数：7回 見学者数：延べ140人 参加団体：22団体(中国語、スマホ・タブレット・パソコン、茶道、ウクレレ、着付け・組紐、フラダンス、国際理解学習、パンチカード、絵画、エッグアート、刺繍、女声コーラス、沖縄三線、二胡、韓国語、自力整体、地域から孤立をなくす語り合い、マジック、ゴスペル、交響楽団、編み物)	地域への愛着	自主グループの発表の場というだけでなく、たまたまロビーや図書館を訪れた人が地域で活動する市民を知る機会となったため。	参加団体同士だけでなく、職員と参加団体との交流も深まったため、今後そのなごりをどう活かしているか検討し、さらなる充実につなげる。
8	西東京市スポーツ相談窓口事業連絡会	スポーツ振興課		令和6年5月15日 (水) ほか1回	イングビルほか	西東京市のスポーツ相談窓口事業の維持・充実のため、庁内関係各課及び外部関係機関が情報交換及び共通認識を図ることを目的とする。	西東京市スポーツ相談窓口事業連絡会設置要綱第3による	-	庁内メールによる	スポーツ相談窓口の運営に当たり、関係各課及び外部関係機関との情報交換を行う。 (主な議題) ・スポーツ相談窓口運営実績報告 ・第2期西東京市スポーツ推進計画に基づく庁内連携について ・新年度予算要求に伴う各課スポーツ関連事業及びスポーツ相談窓口との連携について ・スポーツ関連事業補助金について	共生社会の実現	スポーツ相談窓口を設置している南町・スポーツ・文化交流センター「きらっと」は、スポーツでの利用だけでなく、文化活動団体も利用し展示等を行うなど、施設利用者が文化芸術に触れる機会もあり、文化芸術に親しむ場としても充実している。	スポーツ相談窓口の存在を多くの市民の方に知っていただき、気軽に利用していただくために市民周知や情報提供について検討する必要がある。
9	郷土資料室での文化財の収集、保管、展示	地域学習推進課		令和6年7月20日ほか6回	郷土資料室	市内の郷土資料(考古資料・歴史資料・民具・民俗資料)を収集・保管・保存・展示することで、文化財の保存・活用を実施する。	一般	-	市報 ホームページ SNS チラシ	①トレジャーハンター 歴史の宝ものさがし：R6. 7/20～9/1 ②自由研究応援ウィーク：R6. 6/23～8/25 ③下野谷遺跡から見る風景 縄文時代の人々と竪穴住居の生活：R6.4/20～11/24 ④石物語：R6. 11/1～11/24 ⑤土器と生け花：R6. 11/20～11/24 ⑥文化財が語る 西東京市の江戸時代：R6. 11/24 ⑦”和紙わらべ人形”で伝えたい～昭和の子どもの暮らし～：R7. 1/30～3/16 その他、市民からの申し出を受けて民具等を収集し、新資料としてデータベース化した。	地域への愛着	実際に使用した民具・民俗資料を展示し、使い方の解説も併せて展示を行うことで、身近に感じていただいた。	現在の郷土資料室は、「博物館」設置いたる暫定的な施設との位置付けにあり、学芸員体制の不備、収蔵スペース不足、収蔵環境の不備などの課題に加え、交通アクセスが悪い点なども課題となっている。新たな分野の講座や大学の連携など、見学者の興味、関心をよむくような事業展開が必要。収蔵環境とともに見学の環境もより良みにしていく事も必要。
10	史跡下野谷遺跡保存・活用事業	地域学習推進課		令和6年5月21日ほか	下野谷遺跡を中心とした市内全域	社会状況の変化や価値観の多様化により文化財を保護することが困難になりつつある中で、下野谷遺跡をはじめとした市内の歴史文化を広く周知し、後世に保存継承すること、また、その価値と魅力をまちづくりや人づくりに生かすことを目的とする。	一般	-	市報 ホームページ SNS チラシ	保存：追加指定1件・史跡地の公有地化3件 活用：①第14回縄文のムラで春風と遊ぼう！ R6.5/21 ②第18回したのや縄文の里秋まつり R6.10/13 ③展示 下野谷遺跡から見る風景 縄文時代の人々と竪穴住居の生活：R6.4/20～11/24 ④近隣市との共催によるスタンブラリー-R6.7/20～R7.1/31 その他学校教育や生涯学習での活用(団体見学や、探究学習の資料として) 整備：史跡地の復元展示物に説明看板を設置した。	地域の活性化	学校教育や生涯学習の教材としての利用のほか、秋まつりをはじめとしたイベントなどに利用し、遺跡に親しむ場として活用した。	竪穴住居などの展示物をふくむ整備地(防犯面も含めた)管理と、出土品の展示も求める市民要望があり、下野谷遺跡(備地のガイド機能の強化が課題である。令和7年度は下野谷遺跡エントランスモニター設置を行い、来館者に遺跡の価値と魅力を伝えられるよう取り組む。
11	スポーツ施設の相互利用	スポーツ振興課		通年	各スポーツ施設	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の多摩六都構成市で、個人開放に限り、屋内スポーツ施設の相互利用を行うことを目的としている。	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の在住・在勤・在学の方	-	たまろくナビ	トレーニング室、プール等、個人開放で利用する場合は、市と同じように利用できる。 (西東京市民と同じように利用できる施設は個人開放で利用できる屋内スポーツ施設に限る)	地域の活性化	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市の多摩六都構成市のスポーツ施設を開放することで、スポーツ施設のみならず、近隣市の文化財等も触れる機会に寄与している。	多摩六都構成市で、個人開放に限り、市内スポーツ施設の相互利用ができることを多くの市民の方に伝えられるよう市民周知の手法について検討する必要がある。